

情報提供部会の設置について（案）

1 目的

情報端末の発達により、がんに関する様々な情報が溢れ、患者・家族にとって正しい情報を探し出すことが難しくなっている。本県でも患者会等から県のHPでは、がんに関する情報が探しにくいとの声が上がっている。

これらの問題点を関係各機関で共有すると共に、患者・家族をはじめ、一般県民や医療関係者にとって必要かつ有効な情報を検討・収集し、HPや紙媒体による効果的な情報提供のあり方を検討する。

2 審議事項

- ・ 患者とその家族、一般県民、医療関係者にとって必要かつ有効な情報の検討
- ・ 効果的な情報提供のあり方の検討（発信方法（HP・紙媒体等）や情報提供における各関係機関の役割分担等）

3 委員（案）

主な情報の受け手であるがん患者の経験者で、患者会等で活躍している2名を構成委員とする。

また、情報発信の主体として、全国的な視点を有する国立がん研究センターがん対策情報センター医療情報コンテンツ研究室長、情報発信全般の専門家であるマスコミ関係者、がん診療連携拠点病院の医師、かかりつけ医の代表として千葉県医師会理事、検診・予防に係る情報の発信主体であるちば県民保健予防財団の調査研究部長を構成委員とする。

さらに、情報発信の現場である相談支援センターの相談員で、国立がん研究センターの相談員指導者研修を修了し、県内で主導的な役割を果たしている3名を構成委員とする。

NO	審議会委員 専門委員の別	委員氏名	委員役職名	備考
1	審議会委員	齋藤 とし子	患者団体連絡協議会会長	部会長 患者会
2	専門委員	野田 真由美	NPO 法人支え合う会「α」 副理事長	患者会
3	専門委員	渡邊 清高	国立がん研究センター がん対策情報センター	がん対策情報 センター
4	専門委員	渡辺 鋳	千葉日報社編集局次長	マスコミ
5	専門委員	浜野 公明	県がんセンター 経営戦略部部長	拠点病院医師
6	専門委員	宍倉 朋胤	医師会理事	かかりつけ医
7	専門委員	柳堀 朗子	ちば県民保健予防財団 調査研究部部長	検診・予防
8	専門委員	坂本 はと恵	国立がん研究センター東病院 相談員	相談員 指導者 研修 修了者
9	専門委員	中村 晃子	県がんセンター 相談員	
10	専門委員	安原 千晶	東京歯科大学市川総合病院 相談員	

4 任期

2年以内とする。(最初の任期は、委嘱日から平成26年7月31日までとする。)

5 5年間の各年の審議内容

情報の種類	<ul style="list-style-type: none"> 患者・家族が必要とする情報の検討 一般県民に資する情報（予防・啓発など）の検討
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集体制の検討
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な情報提供体制の検討 (医師会・拠点病院・メディア等との協力作り、役割分担等) 県内のがんに関する情報を取りまとめたポータルサイトの構築 「千葉県がんサポートブック」の改訂 (相談支援専門部会、患者会等へのアンケートの実施等) 県内のがんに関する情報を取りまとめたHPの見直し

【タイムスケジュール】

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
患者・家族が必要とする情報の検討	⇒	⇒			
一般県民に資する情報の検討	⇒	⇒			
情報収集体制の検討	⇒				
効果的な情報提供体制の検討	⇒				
県HPの見直し ポータルサイトの検討・開設	HP開設 ⇒	⇒		随時 見直し ⇒	
「サポートブック」の改訂		⇒		⇒	
PDCAに基づく見直し			⇒		⇒
現計画の評価・次期計画策定					⇒

※ 1年目は、ポータルサイトの開設を本部会の成果とする。

2年目は、「千葉県がんサポートブック」の改訂を本部会の成果とする。

3年目は、これまでの取組みを評価し、新たな課題を抽出して、次年度以降の方針を定める。

6 その他

県内のがんに関する情報をとりまとめたポータルサイト、及び千葉県がんサポートブックは、千葉県地域統括相談支援センター事業内で実施する。